

高知県立消費生活センター

地域見守り情報



第74号

大事な衣類を守るためには…？

クリーニングでは、紛失やシミ、変色などのトラブルが見られます。クリーニングは、サービスが消費者の目の前で行われないことから、トラブルが起きても原因の特定が難しく、解決が困難な場合もあります。

【県内事例①】

クリーニングに出したワンピースを引き取りに行ったら、クリーニング処理の際に裾が破れたと言われた。
(50代女性)

【県内事例②】

スウェットジャケットをクリーニングに出したら、背中の一部が色落ちして戻ってきた。業者が染め直してくれると言うので再度預けたら、色落ちの範囲がさらに広がって戻ってきた。
(60代男性)

アドバイス

1. クリーニングに出す際は、衣類の数量、種類、シミの有無などを店舗側と一緒に確認しましょう。また、気になるときは処理方法も積極的に尋ねましょう。
2. 衣類を間違えて受け渡すことで紛失するケースがあります。クリーニングが仕上がったら、なるべく早く引き取りに行き、数量、色、形などをよく確認しましょう。
3. 衣類に掛けられているカバーが原因で変色したり、しわになったりするケースもあります。カバーを外し、仕上がりを確認してから収納しましょう。
4. 最近では、インターネットで申し込むクリーニングも増えていますが、事業者と顔を合わせないため、トラブルも起きやすくなっています。契約内容や賠償基準などをよく確認し、リスクを理解したうえで利用しましょう。



©KANAGAWA2013

☎ 高知県立消費生活センター 088-824-0999